

はじめに

近年の大学入試英語問題では、自由英作文の出題が目立ってきている。この形式の出題は、主として国公立大に見られるが、私立大でも出題する大学が少しずつ増えている。ところが、この出題形式が苦手な受験生は少なくない。それにはいくつかの理由が考えられるが、最大の理由は、「書き慣れていない」からである。書き慣れていないので、どう書いたらいいのか、何を書いたらいいのか、どういう点に気をつけなければいけないのかといったことで戸惑ってしまうのである。ということは、書き方の原則とか手順を身につけるだけでかなりの対策になると言えるはずである。

以上のことを考慮して、本書はできるだけ短期間で**自由英作文対策の基本**を身につけ、本番に臨めるように編集した。合計して10日間で対策をすませられるようにしようという意図である。しかし、そんなに短期間で対策ができるわけがないという人もいるかもしれない。ある意味ではその通りである。そこで本書は、英文を書く基本的な能力をすでにある程度持っている受験生を対象にしている。とはいえ、自由英作文でよく見られる間違いを犯さないようにしないと高得点は望めないなので、ある程度は基本的な文法・語法も取り上げることにした。こういった基本的な点と、自由英作文で特に必要となる事項を押さえれば、10日間で自由英作文の対策をすませることは十分可能なはずである。

諸君の健闘を祈る。

2016年9月吉日

編者記す

目 次

DAY 1 書き方の原則

- I. インデントを守ろう 6
- II. 段落の意識を持とう 7
- III. 段落の構成と語数を意識しよう 8

DAY 2 書き方の手順

- I. どういう手順で書き始めるべきか 9
- II. メモった後どうするか その1 10
- III. メモった後どうするか その2 12
- 入試練習問題 ① 13

DAY 3 書くべき内容

- I. 課題に応じた書き方を身につけよう 14
- II. 根拠を明確に 15
- III. 「談話の標識」の活用 16
- 入試練習問題 ② 17

DAY 4 やってはいけないこと

- I. ほとんど同じ表現や内容を繰り返す 18
- II. トピックセンテンスがなく、結論もない 19
- III. 文章内での完結性がない 20

DAY 5 入試問題で確認してみよう

- I. まず初めにやること 22
- II. 賛成論の解答例 23
- III. 反対論の解答例 25

DAY 6 自由英作文で役に立つ表現 「談話の標識」

- I. 理由を列挙したいとき 27
- II. 譲歩してから反論を述べたいとき 28
- III. 例を挙げたいとき

Ⅳ. 一般論化したいとき	
Ⅴ. 追加の情報を述べたいとき	
Ⅵ. 結論を述べたり、要約したり、論理的帰結を述べたいとき	29
Ⅶ. 類似性を示したいとき	
Ⅷ. 焦点を当てたり、前の部分との関連を示したいとき	
Ⅸ. 対照を成すことを述べたいとき	30
Ⅹ. より詳細に述べたいとき	

DAY 7 答案の書き方の手順を具体例で確認しよう

Ⅰ. 書いた後に少し時間を置いてから、自分の答案をチェックする	31
Ⅱ. 内容に関するチェックポイントを決めておく	
Ⅲ. 英語の表現に関するチェックポイントを決めておく	32
Ⅳ. 犯しがちな間違いを防ぐために	33
Ⅴ. 正しくはどう書くべきか	34

DAY 8 減点されない答案を書くために その1

Ⅰ. 犯しがちな間違いを防ぐために	37
Ⅱ. 正しくはどう書くべきか	39

DAY 9 減点されない答案を書くために その2

Ⅰ. 犯しがちな間違いを防ぐために	43
Ⅱ. 正しくはどう書くべきか	45

DAY 10 入試本番のつもりで問題を解いてみよう

PART 1

Ⅰ. 自分で答案を書いてみよう	48
Ⅱ. 自分の答案をチェックしてみよう	50
Ⅲ. 自分がチェックした答案を消書してみよう	51

PART 2

Ⅳ. 犯しがちな間違いを防ぐために	52
Ⅴ. 正しくはどう書くべきか	53

LET'S TRY 入試問題演習

50 語前後で書かなければならない場合	57
第1問	
第2問	
100 語前後で書かなければならない場合	58
第3問	
第4問	
150 語前後で書かなければならない場合	59
第5問	
第6問	
200 語前後で書かなければならない場合	60
第7問	
第8問	